

| | |
|--------------------|---|
| No.とプログラム名 | No.43 建設のお仕事を体験してみよう！ |
| 実施日・回数 | 8月8日（木）10時30分～16時 計3回実施 |
| 会場 | 【中区】ラジオ日本 会議室 |
| 参加児童数 | 33人 |
| 企業・団体等名 | 一般社団法人横浜建設業協会／横浜建設業青年会 |
| 参加の目的 (150文字程度) | 建設業について、講話と体験で楽しく学んでもらいました。 プログラムを通じて、建設業がどのような仕事なのか、どのように市民の生活を支えているのか、大切さや魅力を参加者にPRすることを目的とし、参画しました。 |

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- ・ 建設業の仕事の話（講話）
- ・ ドローン体験
- ・ 一輪車を使った運搬作業体験
- ・ 建設現場で使用する工具の展示
- ・ 測量体験

当日の流れ

- 1 講話：15分
- 2 体験学習：45分（3組に分かれてローテーション）
- 3 振り返り会：15分



クイズに積極的に答える様子



測量器を使って距離を測る様子

参加児童の様子や意見、感想など

- ・ 運搬作業に使う一輪車を実際に手に取ると、思っていたより難しかったが、タイムを競う体験は楽しかったという感想が多かったです。
普段は何を運ぶのか、どのくらいの重さの物を運ぶのかなど、参加児童が積極的に質問をしていました。
- ・ ドローン体験では、建設業での用途とは異なりますが、実際に操作してドローンサッカーを体験してもらい、普段触れることのない機械のため、非常に興奮していました。
- ・ 参加児童から、「建設業の一番のやりがいは何ですか？」との質問があり、「ものが完成した時、人に喜んでもらった時、道路が完成して便利になった時」などの答えを熱心に聞いていました。
- ・ 保護者の方からも、建設現場で使用する機器について質問を受けるなど、親子で楽しんでいただけたと思います。



一輪車の運搬作業でタイムを競う様子



ドローン操作の説明を受ける様子

企業・団体の気付きや感想など

建設業の仕事について、映像やクイズを交えて説明し、理解を深めてもらいました。その後、一輪車での運搬、測量、ドローン操作といった建設現場に関わる機器を使ったプログラムを体験してもらいました。

講話や体験を通じて、参加児童から建設業に興味を持って参加してくれた事がうかがえ、人々の生活を支えている建設業の大切さや魅力をアピールすることができました。

この体験が、将来建設業を目指すきっかけに少しでもなれば嬉しく思います。

学生サポーターの気付きや感想など

初めての経験でわからない事ばかりで緊張しましたが、横浜建設業協会、横浜建設業青年会の皆さんの気遣いに助けられました。

自分自身が建設業の仕事の詳細を知らなかったため、学生サポーターとして参加しながら、児童と同じようにたくさん学ぶことができたと思います。

担当した振り返り会では、児童に参加した感想を聞きましたが、各回の児童の雰囲気や質問内容が全く違ったため、回毎に児童の雰囲気に合わせて質問内容を変えるなど、工夫が必要だったと感じました。

今回の貴重な体験を今後活かしていきます。



体を使った測量方法を教える様子



一輪車の運搬作業をレクチャーする様子



学生サポーターによる振り返り会の様子